

海外派遣留学プログラム 帰国報告書

記入日	2023/4/23
所属学部・研究科・学府	園芸学部
所属学科・専攻	園芸学科

1. 留学先について

留学先大学名	フレーザーバレー大学											
留学先所属学部等	なし											
留学期間	出発日	2023/1/2	入学日	2023/1/2	修了日	2023/4/22	帰国日	2023/4/23				
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="radio"/>	民間アパート	<input type="radio"/>	その他 ()							
	通学時間	5分					On campus					
	通学方法	徒歩										
	居室スペース ✓を入れてください	個室	<input checked="" type="checkbox"/>	(2)	人部屋	その他 ()						
共有スペース ✓を入れてください	完全個室	<input checked="" type="checkbox"/>	キッチン	<input checked="" type="checkbox"/>	トイレ	<input checked="" type="checkbox"/>	バス	<input checked="" type="checkbox"/>	リビング	その他()		
食事	自炊	80 %	学食	5 %	外食	5 %	その他	10 % ()				
保険	海外旅行保険 (名称・加入プラン名)	海外旅行保険及び危機管理サービス『留学生トータルサポートプログラム』										
	留学先国・大学指定保険 (名称・加入内容)	Guard. me							<input checked="" type="checkbox"/>	加入必須		
	その他加入保険	なし										
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)											
	成田 ⇄ バンクーバー(飛行機) ⇄ アボッツフォード(Uber)											

2. 留学資金の内訳

自費	<input type="checkbox"/>	貯金	円	アルバイト	円	その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/>	親	1,190,835 円	家族・親戚	円	その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	JASSO	320,000 円	その他名称 ()			円
その他	<input type="checkbox"/>	()					円

3. 留学にかかった費用

総費用	約	1,510,835 円
-----	---	-------------

3-1. 留学にかかった費用：内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位	カナダドル		
渡航費(往復)	円		337,060	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)	円		67,660	円

その他の保険料	ドル	225	22,500	円
査証・在留許可証	ドル	7	700	円
住居	ドル	3,460	346,000	円
光熱費		住居費に含まれる	住居費に含まれる	円
食費	ドル	1,280	128,000	円
通学に要する交通費		なし	なし	円
教科書, 教材費	ドル	173	17,335	円
その他大学に支払った経費				円
その他 (キャンパスカードにチャージした料金)	ドル	96	9,580	円
その他 (病院関係費)	ドル	1,100	110,000	円

3-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	全額クレジットカードで払った
住居にかかった費用	全額クレジットカードで払った

3-3. お金の管理方法

渡航時	現金	20,000 円	その他 ()	円
留学中	海外送金	キャッシング	その他 ()	

4. 学業面

履修科目名	種類 ex. 正規/聴講	単位数	単位互換認定 申請の有無		
			有	○	無
1 AGRI204 Introduction of soil and soil fertility	正規	3		○	無
2 GEO111 Environmental problems and strategy	正規	3		○	無
3 GEO130 Geography of Canada	正規	3		○	無

4-1. 授業科目の選択, 登録方法

ufv mypageから履修登録を行いました。履修登録の時期の前にウェビナーがあるので参加すると思います。exchange studentの場合はprerequisiteを満たしているか、母国の大学の単位を読み替えて照らし合わせる必要があるのでufv internationalのofficeと連絡を取り、履修登録を行いました。各科目に番号がついていて、1から始まる科目が最も易しい科目、先頭の数字が大きくなるにつれて難しい科目になっていきます。私は、1から始まる科目を2つ、2から始まる科目を1つ履修しました。3科目でも大変だったので、履修するのは2科目か3科目でいいと思います。

4-2. 授業内容, 方法に関して

私の履修した授業の内容は比較的易しいものが多かったように思います。soilの授業では、毎回講義前に小テスト、最終プロジェクトとしてプレゼンテーションがありました。プロジェクトは、自分がいいと思った土壌と悪いと思った土壌を採取し、その土で植物を育てるというものでした。また、校外学習として肥料工場の見学にも行きました。環境問題の授業では、ディスカッションやクラスアクティビティが特徴的でした。毎週その週のトピックに関連した動画や記事を集めたweekly checklistというのがあり、それをこなしました。地理の授業は講義形式でしたが、毎月カナダの地図を自分で決めたテーマに沿って色分けし、1ページのレポートを書くというものでした。以上に述べた以外にも課題が多く、特に自分の考えを求められるような課題が多かったように感じます。

4-3. 語学力について

留学前からある程度の実力はありましたが、英語で本格的な授業を受けることがなかったため、アカデミックな英語の運用能力が留学によりついたと思います。最初の方は授業について行くのが精一杯でしたが時間が経つにつれて授業も理解できるようになり、英語の動画や文章を読むことがそこまで苦ではなくなりました。特に文章については、留学前よりも速く読めるようになったと思います。

4-4. 図書館など学内施設について

キャンパスは小さいですが、学内施設は充実していると思います。図書館の書籍を利用する場面は一度しかありませんでしたが、勉強場所としても優れています。自習室のようなスペースがあり集中して勉強することができました。また、1階にはスタディールームがあり予約することでグループ学習も可能です。キャンパス内が混雑していることもあまりないので、勉強場所に困ることはなかったように思います。

5. 生活面

5-1. 住居について

快適に過ごすことができましたと思います。ベッドルームは個人で使用することができ、トイレ・シャワールームとキッチンが共用です。キッチンは電子レンジのみでコンロはありませんでした。料理をするときは基本的に共用キッチンに材料を持っていき、調理します。私の友人はルームメイトに悩まされている人も多かったように思いますが、私はルームメイトに恵まれたので大丈夫でした。部屋の壁が薄く音が結構聞こえるのが難点かなと思います。

5-2. 食生活について

基本的にあまり美味しくないと感じました。カフェテリアがありますが、価格が高くあまり健康的でないと感じました。外食も、税やチップの文化があり、かなり高くなります。基本的に自炊をしていましたが、近くに日本の食材を扱っているスーパーがありよくそこで買い物をしました。個人的にはカナダの食事に慣れる必要はないと思っています。初期はイベント毎にピザが出ていたので肌が荒れました。

5-3. インターネット環境、携帯電話について

寮には各部屋にwifiがついているのでかなり良い環境だったかと思います。学内wifiもありますが、日によって私のデバイスのせいなのか調子が悪い時がありました。図書館などの場所では難なく使うことができますが、キャンパス内の屋外だと電波が弱いことがありました。IT deskというものがあるので、私は利用したことがありませんが、調子が悪い時はそこに行ってみるのも良いかもしれません。

5-4. 服装について

1月から4月の留学でしたが、衣替えの必要なく帰国できることに驚いています。寒い時は通常のヒートテックを着て長袖長ズボンのような服装をすれば十分だと思います。コートはロングコートを持っていきましたが、短い丈で十分だったので少し後悔しています。

5-5. 健康管理について

1月の中旬に高熱を出してしまい辛かったです。カナダの人はコートを着なかつたり傘をささなかつたりしますが、体質が違うと思うので、コートと傘は健康管理に必須です。また、高熱を出した時に日本からの留学生の友人が冷えピタをくれたのですが、効果的だったので持ち物に含めることをお勧めします。

5-6. 保険、危機管理サービスの利用について *利用実績等をご記入ください。

先ほど述べた通り、高熱を出してしまったため病院を念の為受診しました。受付の時点で留学先の大学の保険を提示し忘れたところ総額で10万円以上かかってしまい、Ji保険に申請する予定です。留学生サポートのラインアカウントから何度も連絡させていただき、サポートを受けることができてとても助かりました。

5-7. 課外活動について

様々なイベントやFriends without bordersというコミュニティに積極的に参加しました。留学生が多いので、そのようなイベントが充実しており、よかったです。スキーやカーリングなどカナダのウィンタースポーツを楽しんだり、Holiや旧正月など各国の文化に触れる機会もありました。Friends without bordersの最終セッションではお互いにメッセージを書き合いました。

5-8. 学外のコミュニティとの交流について

学校が離れた場所にあるので学外のコミュニティとの交流はほとんどありません。

5-9. 日本から持参してよかったもの

いつも服用している痛み止め、貼るカイロ、味噌パウダー、味噌汁の具、顆粒だしを持参してよかったと思いました。折り畳み傘とスノーブーツも持って行ってよかったです。(どちらも最後は壊れてしまい捨ててきましたが)

5-10. 日本から持参したが不要だったもの

特にありません。

5-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い, マナーなど)

基本的に知らない人でも、皆笑顔で挨拶してくれます。ドアを開けて待つ、というのが日本と少し似ているなと思いました。カナダではさらに5m先に人がいてもその人がドアの前に来るまでドアを開けて待ちます。外食時は、日本では手をあげて店員さんが来るのを待ったり、レジで会計をしたりしますが、カナダでは店員さんが来るまでひたすら待つ、会計についても店員さんが来るまで待つ、というのが最初は新鮮でした。

5-12. 余暇の過ごし方

旅行

ヴィクトリアとトロントにいきました。ヴィクトリアは、大学の寮のあるアポッツフォードからuberとフェリーで行くことができましたため、交通費を抑えることができました。

その他

大学内にティムホートンズというカナダでは最も有名なコーヒーのチェーン店が入っていたので、よく利用していました。寮の友達と夕ご飯を食べたり、日本の友達と電話したりして気分転換していました。

5. その他

5-1. 留学先大学について

小さな大学で授業も最大30~40人と比較的小さなクラスで行われます。そのため、教授とコミュニケーションがとりやすく質問がしやすいです。一方、キャンパスやコミュニティが小さいので合わなかった時に少し苦勞するかなと思います。留学生が多いため、留学生対応のオフィスも充実しており困った時には相談できる体制が整っています。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

キャンパスのある街がどんな街なのか(都市なのか、郊外や田舎なのか)はよく調べてから行った方がいいです。特に長期間留学する場合は少し忍耐力が必要かもしれません。また、医療についてですが、日本とは異なることをよく理解しておいた方がいいです。すでに風邪はほとんど治っていたのですが、オンラインで診療していただいた医師の勧めで地域の病院に行きました。6時間待った末何も処方されず大金を払うことになってしまいました。また、カードはクレジットカードとデビットカードの2種類作って行った方がいいです。旅行途中でクレジットカードが(病院の高額な請求額を払ったために)止まってしまい大変でした。

5-3. 留学を終えて

コミュニケーション能力が上がったように思います。誰も知り合いがいない中での留学だったので最初は不安でしたが、自分からいろんなイベントに参加し、初めて会う人に声をかけて友達を作ろうと努力しました。授業についても、わからないことは積極的に質問しました。授業後に教室に残ることで教授とちゃんと時間をとってお話できたのでよかったです。留学期間中に一度オンラインでUBCの教授と大学院進学について相談をしました。カナダだけではないかもしれませんが、自分から積極的にアピールしていかないと大学院進学や就職は難しいんだということを思い知らされて少し不安です。今後直近の目標としては各種英語試験を受けて大学院進学に必要なスコアを獲得すること、長期的にはなんらかの方法で海外で働くことができるような進路を目指していきたいと思います。